2026年度　町田市立三輪小学校　学校経営計画・学校評価報告書（自己評価・学校関係者評価）

令和8年3月31日

学校教育目標　　憲法・教育基本法の精神に基づき平和的な社会の形成者として、心身共に健やかな三輪小の子どもを育てる。 ○たくましい子ども　　◎考え深い子ども　　○心の豊かな子ども	学校経営の重点　(1)デジタル教材を活用したこれからの学び推進　(2)教員の指導力向上　(3)地域人材・豊かな自然を活用したふるさと教育の充実
○目指す学校像・・・・・・・・「子供の未来をひらく学校」 互いに関わり、認め合い、高め合いながら、未来を切り拓く基礎作りをしていくことのできる調和のとれた学校 ○目指す児童・生徒像・・・「みんな仲良し三輪の仲間」 自分の良さを見い出し、自分も友達も大切にする子 ○目指す教師像・・・・・・・・一人ひとりの子供たちの力を伸ばす指導力の向上	重点目標の成果と課題

領域	教育プランに基づく経営目標	中期・短期経営目標	具体的方策	取組指標	平均	評価	成果指標	○%	評価	分析コメント	改善策	学校関係者評価記入欄	評価
社会に開かれた教育課程の実現	目指す学校及び子どもの姿を家庭や地域社会と共有・連携した教育課程を実施する。	地域の環境及び人材を生かした体験的活動を活性化する。	ふるさと教育をカリキュラム・マネジメントの観点から見直しを行い、地域と連携した教育活動を効果的に実施する。	4 年間指導計画に設定した地域と連携した教育活動の90%以上を実施 3 年間指導計画に設定した地域と連携した教育活動の80%以上を実施 2 年間指導計画に設定した地域と連携した教育活動の70%以上を実施 1 年間指導計画に設定した地域と連携した教育活動の実施が70%未満			A 保護者向けアンケート(1)ア③「地域人材を活用した教育活動」肯定的評価 80%以上 B 保護者向けアンケート(1)ア③「地域人材を活用した教育活動」肯定的評価 70%以上 C 保護者向けアンケート(1)ア③「地域人材を活用した教育活動」肯定的評価 60%以上 D 保護者向けアンケート(1)ア③「地域人材を活用した教育活動」肯定的評価 60%未満						
			保護者や地域協力者によるのふるさと教育活動の参加を増やす工夫をする。	4 保護者ボランティア 年間10人以上の参加 3 保護者ボランティア 年間10人以上の参加 2 保護者ボランティア 年間8人以上の参加 1 保護者ボランティア 年間8人以上の参加			A 教員アンケート独自「保護者ボランティア」肯定的評価 80%以上 B 教員アンケート独自「保護者ボランティア」肯定的評価70%以上 C 教員アンケート独自「保護者ボランティア」肯定的評価60%以上 D 教員アンケート独自「保護者ボランティア」肯定的評価60%未満						
		積極的な情報発信と情報収集を通して、教育活動への理解を求める。	ホームページに保護者が必要な情報を掲載する。	4 週4回以上の更新 3 週3回以上の更新 2 週2回以上の更新 1 週1回以上の更新			A 保護者アンケート(1)ア②「情報発信」肯定的評価 90%以上 B 保護者アンケート(1)ア②「情報発信」肯定的評価 80%以上 C 保護者アンケート(1)ア②「情報発信」肯定的評価 70%以上 D 保護者アンケート(1)ア②「情報発信」肯定的評価 70%未満						
			ボランティアの募集、行事アンケート、学校評価の意見を教育活動に反映させる。	4 意見収集の90%以上で実施 3 意見収集の80%以上で実施 2 意見収集の70%以上で実施 1 意見収集の70%未満で実施			A 教員アンケート「保護者意見の反映」肯定的評価 80%以上 B 教員アンケート「保護者意見の反映」肯定的評価70%以上 C 教員アンケート「保護者意見の反映」肯定的評価60%以上 D 教員アンケート「保護者意見の反映」肯定的評価60%未満						
		教員の働き方改革を推進する。	会議を減らし、業務に集中して取り組めたり、年次有給休暇を取得したりしやすい環境をつくる。	4 会議なしを週4日設定 3 会議なしを週3日設定 2 会議なしを週2日設定 1 会議なし週1日設定			A 1人当たりの月平均時間外在校等時間を前年度比7%以上減らす B 1人当たりの月平均時間外在校等時間を前年度比5%以上減らす C 1人当たりの月平均時間外在校等時間を前年度比3%以上減らす D 1人当たりの月平均時間外在校等時間を前年度と同じか増えている						
			校務分掌のマニュアル化を行い、仕事の効率化を図る。	4 校務分掌のマニュアル化 60%以上で実施 3 校務分掌のマニュアル化 50%以上で実施 2 校務分掌のマニュアル化 40%以上で実施 1 校務分掌のマニュアル化 40%未満で実施			A 教員アンケート「仕事の効率化」肯定的評価 80%以上 B 教員アンケート「仕事の効率化」肯定的評価 80%以上 C 教員アンケート「仕事の効率化」肯定的評価 70%以上 D 教員アンケート「仕事の効率化」肯定的評価 70%未満						
確かな学力の育成	**子どもが主体的に学び、教師が導く**授業**改革**を進め、**主体的・対話的で深い学びを実現することで、**基礎的・基本的な知識及び技能の確実な習得と思考力、判断力、表現力等**とともに学び続ける力**の育成**を図る。**	基礎的・基本的な知識及び技能の確実に習得させる。	全学年で、算数において、少人数指導またはTT指導体制を実施する。	4 90%以上の単元で実施 3 80%以上の単元で実施 2 70%以上の単元で実施 1 70%未満の単元で実施			A 保護者アンケート(イ)①「基礎的・基本的な事柄の定着」肯定的評価 80%以上 B 保護者アンケート(イ)①「基礎的・基本的な事柄の定着」肯定的評価 70%以上 C 保護者アンケート(イ)①「基礎的・基本的な事柄の定着」肯定的評価 60%以上 D 保護者アンケート(イ)①「基礎的・基本的な事柄の定着」肯定的評価 60%未満						
			学習アプリを授業や家庭学習に取り入れ、個に応じた学習を行う。	4 週4回以上の実施 3 週3回以上の実施 2 週2回以上の実施 1 週1回以上の実施			A 児童アンケート「基礎学力定着のためのICT使用」肯定的評価 80%以上 B 児童アンケート「基礎学力定着のためのICT使用」肯定的評価 70%以上 C 児童アンケート「基礎学力定着のためのICT使用」肯定的評価 60%以上 D 児童アンケート「基礎学力定着のためのICT使用」肯定的評価 60%未満						
		学習への興味・関心を高め、主体的に「学び続ける」子どもを育てる。	デジタルを活用した個別最適な学びと協働的な学びの一体的な充実を推進する。	4 80%以上の授業で実施 3 80%以上の授業で実施 2 70%以上の授業で実施 1 70%未満の授業で実施			A 教員アンケート「デジタルを活用した学びの推進」肯定的評価 80%以上 B 教員アンケート「デジタルを活用した学びの推進」肯定的評価 70%以上 C 教員アンケート「デジタルを活用した学びの推進」肯定的評価 60%以上 D 教員アンケート「デジタルを活用した学びの推進」肯定的評価 60%未満						
			友達との意見交流の場を設け、思考を深めたり広げたりする授業を実施する。	4 80%以上の授業で実施 3 80%以上の授業で実施 2 70%以上の授業で実施 1 70%未満の授業で実施			A 児童アンケート「友達との交流による学びの深まり」肯定的評価 80%以上 B 児童アンケート「友達との交流による学びの深まり」肯定的評価 70%以上 C 児童アンケート「友達との交流による学びの深まり」肯定的評価 60%以上 D 児童アンケート「友達との交流による学びの深まり」肯定的評価 60%未満						
豊かな心の涵養	多様性を尊重し、自分と共に他者を大切にする意識・意欲・態度を育てる。	他人を思いやる心、規範意識等を育む。	学校のきまり、家庭のきまり、SNSルールを児童とともに見直し、家庭と連携しながら、きまりを守ろうとする心を育てる。	4 週1回以上の指導場面で実施 3 月2回以上の指導場面で実施 2 月1回以上の指導場面で実施 1 月1回未満の指導場面で実施			A 保護者アンケート(1)ウ②「きまり」肯定的評価 90%以上 B 保護者アンケート(1)ウ②「きまり」肯定的評価 80%以上 C 保護者アンケート(1)ウ②「きまり」肯定的評価 70%以上 D 保護者アンケート(1)ウ②「きまり」肯定的評価 70%未満						
			いじめの早期発見・早期解決のための生活指導や道徳教育を実施する。	4 いじめ防止の指導や授業を月に1回以上指導実施 3 いじめ防止の指導や授業を学期に2回以上指導実施 2 いじめ防止の指導や授業を学期に1回以上指導実施 1 いじめ防止の指導や授業を年に2回以上実施			A 児童アンケート「いじめに対する意識」肯定的評価 80%以上 B 児童アンケート「いじめに対する意識」肯定的評価 70%以上 C 児童アンケート「いじめに対する意識」肯定的評価 60%以上 D 児童アンケート「いじめに対する意識」肯定的評価 60%未満						
		人との関わりを通して、自分の周りの人を大切にしようとする態度を養う。	特別活動(学級活動、委員会、クラブ、たてわり班活動など)における児童の主体的な活動を重視する。	4 80%以上の指導場面で実施 3 80%以上の指導場面で実施 2 70%以上の指導場面で実施 1 70%未満の指導場面で実施			A 児童アンケート「特別活動における主体的な活動」肯定的評価 80%以上 B 児童アンケート「特別活動における主体的な活動」肯定的評価 70%以上 C 児童アンケート「特別活動における主体的な活動」肯定的評価 60%以上 D 児童アンケート「特別活動における主体的な活動」肯定的評価 60%未満						
			クラスごとのあいさつ運動の実施、地域の方による声かけを通して、すすんで挨拶する態度の育成する。	4 80%以上の指導場面で実施 3 80%以上の指導場面で実施 2 70%以上の指導場面で実施 1 70%未満の指導場面で実施			A 保護者アンケート(1)ウ③「あいさつ」肯定的評価 80%以上 B 保護者アンケート(1)ウ③「あいさつ」肯定的評価 70%以上 C 保護者アンケート(1)ウ③「あいさつ」肯定的評価 60%以上 D 保護者アンケート(1)ウ③「あいさつ」肯定的評価 60%未満						
健やかな体の育成	正しい生活習慣を身に付けさせ、丈夫な体とたくましい心を育てるとともに、自助・共助・公助の力を身に付ける安全指導・安全教育を充実する.	運動の日常化と健康教育及び食育の充実を図り、基礎体力の向上を図る。	縄跳びやマラソンのワークシートを作成・活用し、児童の運動の意欲を高める。	4 80%以上の指導場面で実施 3 80%以上の指導場面で実施 2 70%以上の指導場面で実施 1 70%未満の指導場面で実施			A 保護者アンケート(1)エ①「積極的な運動」肯定的評価 70%以上 B 保護者アンケート(1)エ①「積極的な運動」肯定的評価 60%以上 C 保護者アンケート(1)エ①「積極的な運動」肯定的評価 50%以上 D 保護者アンケート(1)エ①「積極的な運動」肯定的評価 40%未満						
			生活科、総合的な学習の時間、家庭科、給食指導において、食習慣、生活習慣について学習する機会をもつ。	4 食習慣・生活習慣に関する指導を月に1回以上指導実施 3 食習慣・生活習慣に関する指導を学期に2回以上指導実施 2 食習慣・生活習慣に関する指導を学期に1回以上指導実施 1 食習慣・生活習慣に関する指導を年に2回以上実施			A 保護者アンケート(1)エ②「食習慣・生活習慣」肯定的評価 80%以上 B 保護者アンケート(1)エ②「食習慣・生活習慣」肯定的評価 70%以上 C 保護者アンケート(1)エ②「食習慣・生活習慣」肯定的評価 60%以上 D 保護者アンケート(1)エ②「食習慣・生活習慣」肯定的評価 60%未満						
		心身を守る力を育成するための全校体制を徹底する。	地域との連携も取り入れた避難訓練を実施し、日々の防災についての意識を高める。	4 80%以上の指導場面で実施 3 80%以上の指導場面で実施 2 70%以上の指導場面で実施 1 70%未満の指導場面で実施			A 児童アンケート「防災に対する意識」肯定的評価 80%以上 B 児童アンケート「防災に対する意識」肯定的評価 70%以上 C 児童アンケート「防災に対する意識」肯定的評価 60%以上 D 児童アンケート「防災に対する意識」肯定的評価 60%未満						
			交通安全や不審者対応について、全校、学年、学級で計画的に指導を行う。	4 80%以上の指導場面で実施 3 80%以上の指導場面で実施 2 70%以上の指導場面で実施 1 70%未満の指導場面で実施			A 保護者アンケート(1)ウ④「安全意識」肯定的評価 80%以上 B 保護者アンケート(1)ウ④「安全意識」肯定的評価 70%以上 C 保護者アンケート(1)ウ④「安全意識」肯定的評価 60%以上 D 保護者アンケート(1)ウ④「安全意識」肯定的評価 60%未満						
その他													

取組指標の評価基準（結果数値からABCD評価へ）

取組指標平均	3．5以上	⇒ 評価A
取組指標平均	3以上3．5未満	⇒ 評価B
取組指標平均	2以上3未満	⇒ 評価C
取組指標平均	2未満	⇒ 評価D

※　学校独自に設定する場合は、枠内を修正明記してください。

成果指標評価基準

成果指標平均	80%以上	⇒評価A
成果指標平均	70%以上	⇒評価B
成果指標平均	55%以上	⇒評価C
成果指標平均	55%未満	⇒評価D

学校関係者評価の評価基準例

A⇒　取組・成果ともに十分評価できる
B⇒　取組・成果ともに評価できるが、さらに改善したい
C⇒　目標達成には至らないため、次年度の改善が必要
D⇒　重要な課題であるため、次年度、重点的に改善

※　学校からの十分な説明をもとに、学校運営協議会で成果と課題、改善点について協議する。